

## インターオプト国際展示会 (InterOpto'06 7/12-14) 出展の報告

2008 年 8 月

標題展示会出展に関するご協力、誠にありがとうございました。お蔭様で、NICT 光関連技術の成果と研究連携・研究推進の一端とを多くの情報通信機器メーカー、光学機器メーカー、大学、公的研究機関等からの参加者に紹介することができたのではないかと考えております。皆様のご協力の賜物と感謝する次第です。また、本出展は別紙のように推進会議においても報告させて頂いております。今後ともご理解とご協力をお願い致します。



広報・知的財産コーナー



(左) 空間光通信による Ruff システムの展示

(右) 委託研究成果 (量子情報通信) 展示

## NICT光情報通信技術をインターオプト国際展示会(InterOpto'06)へ出展

7月12日～14日、幕張メッセで開催されたインターオプト国際展示会(インターナショナルオプトエレクトロニクスショー2006、InterOpto'06)において、NICTにおける光情報通信技術が出展された。新世代ネットワーク研究センターが主体となり、広報室、連携研究部門(テストベッド推進グループ、委託研究グループ)、および研究推進部門(知財推進グループ)の協力を得て実施したものである。インターオプト国際展示会では、光通信、光計測、光入出力、レーザ加工・生産等の機器装置及び関連部品が一堂に展示されるため、多くの情報通信機器メーカ、光学機器メーカ、大学、公的研究機関等から、10,000名を超す関係者が訪れた。新世代ネットワーク研究センターの研究開発成果を主体としつつも、産学官連携や技術移転の成果等までも含むNICT光情報通信技術全般が表される研究開発内容が紹介された。以下は会場の様子(写真)と展示内容概要(末尾)である。



- (1) NICT光情報通信技術の研究開発(ポスターと静態展示)
- (2) 同じく知的財産と技術移転(ポスターと静態展示)
- (3) 同じく委託研究と共同研究の成果(ポスターと動態展示)
  - (ア) 量子情報通信技術  
(NEC・三菱電機・東京大学への委託研究成果)
  - (イ) 空間光通信を利用するアリーナレベル高自由度FMCシステム(下図)  
(大阪大学小牧研究室とNICTとの共同研究成果)

